



漆原啓子

(第1ヴァイオリン)

Keiko Urushihara, 1st. violin

直江智沙子

(第2ヴァイオリン)

Chisako Naoe, 2nd. violin

大島 亮

(ヴィオラ)

Ryo Oshima, viola

辻本 玲

(チェロ)

Rei Tsujimoto, cello

ひばり弦楽四重奏団

Hibari String Quartet

ベートーヴェン全曲演奏会 vol.10 **最終回**

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第4番 ハ短調 op.18-4

ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ト短調 op.10

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第8番 ホ短調「ラズモフスキー第2番」 op.59-2

2025年7月8日[火] 19:00開演(18:30開場) **Ⓜ HAKUJU HALL**

料金(全席指定・税込) — 一般 4,000円 / 学生 2,000円

チケットお申し込み — Hakuju Hall オンラインチケット予約 <https://www.hakujuhall.jp>

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード 298845)

ひばり弦楽四重奏団 Hibari String Quartet

ハレー・ストリング・クアルテット結成から30数年の時を経て、漆原啓子が中心となって結成した常設の弦楽四重奏団。メンバーは、新たに神奈川フィル首席奏者 直江智沙子(Vn)を迎え、神奈川フィル首席奏者 大島亮(Vla)、NHK交響楽団首席チェロ奏者 辻本玲(Vc)による新たな《ひばりサウンド》を創造する。第1回公演を2018年2月に東京文化会館にて開催。2019年より6年に及ぶ長期プロジェクト『ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏会』が間もなく完結を迎える。



漆原啓子 (1stヴァイオリン) Keiko Urushihara, 1st. violin

東京藝術大学付属高校在学中に、第8回ヴィニャフスキ国際コンクール日本人初の優勝と6つの副賞を受賞。ハレー・ストリング・クアルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝並びに斎藤秀雄賞を受賞。ソリスト、室内楽奏者として常に第一線で活躍を続ける。これまで、国内外での演奏旅行のほか、ハンガリー国立響、スロヴァキア・フィル、ウィーン放送響等の海外のオーケストラや、日本国内の主要オーケストラとの共演や全国各地でリサイタル、室内楽に数多く出演。これまでにCDも多数リリースしており、文化庁芸術祭優秀賞やレコード芸術特選盤に多数選ばれる。現在、国立音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授として後進の指導にも力を注いでいる。

大島 亮 (ヴィオラ) Ryo Oshima, viola

神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。桐朋学園大学卒、同大学研究科修了。第11回コンセル・マロニエ21弦楽部門第1位、第7回東京音楽コンクール弦楽部門第1位、第42回マルクノイキルヘン国際コンクールディプロマ賞受賞。ソリストとして東京都交響楽団、九州交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演。2012年東京文化会館での初リサイタル以降、定期的にリサイタルを開催、好評を博している。ヴィオラスペース、東京・春・音楽祭、ラヴェンナ音楽祭、宮崎国際音楽祭、木曽音楽祭、水戸室内管弦楽団、サイトウキネンオーケストラ、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」等に出演。室内楽では今井信子、原田禎夫、仲道郁代氏等と共演。岡田伸夫氏に師事。

直江智沙子 (2ndヴァイオリン) Chisako Naoe, 2nd.violin

札幌市出身。桐朋女子高等学校を経て桐朋学園大学を卒業。徳永二男氏に師事。宮崎国際音楽祭、セイジオザワ松本フェスティバルに毎年参加。また、広響、京響、山響、札幌、新日本フィルなどの各オケで度々ゲスト首席奏者を務めている。財団法人ロームミュージックファンデーションの在外研究生として奨学金を得てベルリンに留学、シュテファン・ピカール氏に師事。2020年より毎年自身が主催する室内楽コンサートを開催、また自身のオーケストラとコンチェルトを度々共演などオーケストラ、室内楽を中心に活動している。トリトン晴れた海のオーケストラ、ARKシンフォニエッタメンバー。神奈川フィルハーモニー管弦楽団第2バイオリン首席奏者。

辻本 玲 (チェロ) Rei Tsujimoto, cello

東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業。第72回日本音楽コンクール第2位(「聴衆賞」受賞)。2009年ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)。2011年に東京サントリーホール他5大都市でデビュー・リサイタルを開催。2013年斎藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。2019年CD『オブリヴィオン』をリリース(「レコード芸術」誌特選盤)。使用楽器は宗次コレクションより1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、弓は住野泰士コレクションよりTourteを特別に貸与されている。現在、NHK交響楽団首席チェロ奏者を務める。

ひばり弦楽四重奏団 ベートーヴェン全曲演奏会 会場:HakujuHall

第一回: 2019年11月18日(月)

- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第2番 ト長調 op.18-2「挨拶」
- ラヴェル: 弦楽四重奏曲 ヘ長調
- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第9番 ハ長調 op.59-3「ラズモフスキー第3番」

第二回: 2020年10月13日(火)

- モーツァルト: 弦楽四重奏曲 第14番 ト長調「春」K.387
- ヴェーベルン: 弦楽四重奏のための5つの楽章 op.5
- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第12番 ホ長調 op.127

第三回: 2021年6月23日(水)

- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第5番 イ長調 op.18-5
- バルトーク: 弦楽四重奏曲 第3番
- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 op.132

第四回: 2021年11月9日(火)

- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第6番 変ロ長調 op.18-6
- ブラームス: 弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 op.51-2
- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第10番 変ホ長調「ハーブ」op.74

第五回: 2022年6月29日(水)

- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第1番 ヘ長調 op.18-1
- ショスタコーヴィチ: 弦楽四重奏曲 第8番 ハ短調 op.110
- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第7番 ヘ長調「ラズモフスキー第1番」op.59-1

第六回: 2022年10月11日(火)

- ドヴォルジャーク: 弦楽四重奏のための「糸杉」より
- スメタナ: 弦楽四重奏曲 第1番 ホ短調「わが生涯より」
- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 op.130

第七回: 2023年6月7日(水)

- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第3番 二長調 op.18-3
- ドヴォルジャーク: 弦楽四重奏曲 第12番 ヘ長調 op.96「アメリカ」
- ヴェーベルン: 弦楽四重奏のための緩徐楽章
- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第16番 ヘ長調 op.135

第八回: 2023年10月6日(金)

- メンデルスゾーン: 弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 op.13
- シュルホフ: 弦楽四重奏曲 第1番
- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 op.131

第九回: 2024年3月8日(金)

- ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲 ヘ長調 Hess 34、弦楽四重奏曲 第11番 ヘ短調 op.95「セリオン」
- ヤナーチェク: 弦楽四重奏曲 第1番「クワイテル・ソナタ」
- ベートーヴェン: 大フガ 変ロ長調 op.133

「ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲全集」第1弾 実力派揃いの常設グループによる、新たな伝説の始まり!!

ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲全集 III ひばり弦楽四重奏団

- 弦楽四重奏曲 第11番 ヘ短調 作品95「セリオン」
- 弦楽四重奏曲 第12番 変ホ長調 作品127
- 弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 作品130
- 大フガ 変ロ長調 作品133

【次回発売予定】ベートーヴェン: 弦楽四重奏曲全集I (第1番〜第6番)、弦楽四重奏曲全集II (第7番〜第10番)、弦楽四重奏曲全集IV (第14番〜第16番、Hess34)



NARD-5095/6(2枚組) ¥4,400(税込)

NAR

日本アコースティックレコーズ

〒101-0065 東京都千代田区西神田2-4-1 32号室
Tel.03-6272-4146 <http://www.narrecords.com/>



電車: 代々木公園駅(千代田線) 出口1より徒歩5分
代々木八幡駅(小田急線) 南口より徒歩5分
バス: 「富ヶ谷」停留所下車徒歩1分